

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	交通安全施設整備事業		コード	担当課係	都市整備課 土木係
			01-04-01-05	担当者	小川 勝巳
事業実施期間	H17		電話	0869-64-1835	
総合計画 事業(政策)体系	大項目	安心で快適に暮せるまちづくり			
	中項目	安全で安心して暮せるまちづくり			
	小項目	交通安全			
	施策	交通安全施設の整備			

事業について	
目的	市民の通行の安全に帰するため、交通安全施設の未整備道路を整備していく。
対象(誰のために)	道路を通行する歩行者、車両等
内容	各地区からの要望により、整備箇所を決定し年間数路線事業を行う。また、整備延長が長い箇所については年次的に継続事業として行う。

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
カーブミラー	17 基		
ガードレール等	263.3 m		
案内標識	15 枚		
整備箇所数	36 箇所		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	10,295	国庫補助金等	0	直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	6,289	受益者負担	0	人件費		受益者負担	
	合計	16,584	一般財源等	16,584	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.76	人		人
結果指標名	整備箇所数			
結果指標量	36			
単位	箇所			
対前年比	—			
事業費	16,584,000	円		円
単当たりコスト①	460,667	円		円

結果指標名	整備箇所数			
結果指標量	36			
単位	箇所			
対前年比	—			
事業費		円		円
単当たりコスト②		円		円

事業の成果	17年度		
成果指標名	達成率	式又は説明	実施箇所数 要望箇所数
成果指標量	約90%		
対前年比	—	#VALUE!	
到達目標値	100%	到達目標年度	毎年

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	関係法令等に規定されており、交通安全に関して、施策を策定し、これを実施する責務を有する。
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
効率性の評価	コストの効率化	工法選定については、設計マニュアル等がありコスト削減は困難であるが、測量・設計業務は、担当係で行っている。
	手段の最適化	
有効性の評価	市民の関与の妥当性	予算の範囲内で、地区要望の危険度の高い順に新設しているが、近年、既存の施設の老朽化が増え、再施工も考慮して進めていかねばならない。
	職場の効率化	
総合評価	目的達成度	評価区分 <A~E> C
	成果向上の可能性	
市民参画度	市民参画度	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

総合評価	コメント	評価区分
	地区要望については、危険度の高い箇所を優先しながら、年度内の効率的な施行が図れた。	<A~E> C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合	
翌年度結果指標量①	達成率	結果指標量②
目標値	成果指標量	100%

改善事項	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性		投資効果の有効箇所の検討	H17~	投資効果の向上